

# 協働通信

## 都留の市民の活動

今回は「みとおし」と「work-waku(わくわく)都留」をご紹介します。

### Vol.3 社会福祉法人あすなる会 「みとおし」

都留市井倉にある「みとおし」施設長の志村恵子さんにお話を伺いました。

私たち社会福祉法人あすなる会は平成17年に認可を得て、平成18年に障害者の通所授産施設「みとおし」を開設しました。現在は、障害福祉サービス事業所として障害をもたれた方々に合わせた活動を提供しています。

障害者自立支援法によって、障害をもたれた方々が一般企業などで働けるよう体制が強化されましたが、昨今の経済状況から、なかなか厳しいのが現実です。支援学校などを卒業されても働く場所がないのです。私たちは、そのような状況をなんとか変えたい、障害をもたれた方々が自立的に社会で貢献できるようなお手伝いをしていきたいとの願いから当園を開設しました。

当園では、現在27名の通所者がおり、11名のスタッフがサポートにあたっています。クッキーや無農薬の野菜、季節の

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
都留市上谷2-1-15  
都留市役所新町別館1階  
▽開館  
月～金(祝日除)  
8:30～17:15  
▽問い合わせ先  
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp  
☎(46)5236  
FAX (46)5237

花々を作りながら、フリーマーケットや出張販売をしています。特に、原材料や水にまでこだわっている「みとおし生うどん」はとても人気があります。

私たちは、あくまでも、趣味として作るのではなく、多くの方々に好まれ、喜ばれるような商品を作りたい。その売上げが工賃として通所者に渡ること、さらに張り合いとなり、自立化につながることを考えています。

私たちは多くの市民の皆さんに施設を知っていただき、障害をもたれた方々への理解が深まっていけばと思います。私たちも地域に入って、できることをお手伝いさせていただければと考えています。市内で地域の皆さんが行うまちづくりの活動やイベントなどにもぜひお声を掛けて頂けたらと思います。



### Vol.4 work-waku 都留

学生サークル「work-waku(わくわく)都留」代表の中島拓哉(都留文科大学学生)さんにお話を伺いました。



■「work-waku(わくわく)都留」代表の中島拓哉さん

私たちは、地域の方々に関わりながら、交流イベントやまちづくりなど、約50名のメンバーの想いをもとに様々な企画を進めています。

もともと「work-waku 都留」は、平成15年に、社会学科の授業から生まれました。その授業の中では「自分のエゴ(我)にかかりたいと思う気持ち、想い)から行動を出発する」というまちづくり手法がポイントとなりました。都留をこんなまちにしたい、こんなことをしたら楽しいぞうと心の底から強く思うことでなければ何も始まらないし、自分が楽しまなければ周りも動かない、また、個々に価値観が違って、わくわくする楽しいことは、きっとみんな好きはず。ならば個々からはじまる、わくわくするようなことこの輪を広げ、結果として多くの学生や地域の方々が楽しめるものをつくってしまおう!というものです。私たちはこれを理念にまちづくり的活動をしています。

す。

私たちの企画のひとつに、今年7月、大学構内で開催した「チャリティカフェ&キャンドルナイト」があります。3月11日の震災に対して私たちができる支援を考え、形にした企画です。様々な学生団体に協力していただき、東北野菜を使った料理などを販売し、売上げを義援金として被災地に寄付しました。

現在、公民館学級での地域交流企画、畑での憩いの場づくりの企画を進めています。今後とも広く地域の方々とながりたいと考えています。都留市は学生と市民と行政が一緒になれば大きな可能性が生まれます。まだまだ学生が地域にでいく足がかりが少なく、私たちが少ないと思います。これまでの経験をいかし、地域と学生との懸け橋になればと考えています。



### 地域のお知らせ!

禾生地域 「グラウンド・ゴルフ」  
日時 12月4日(日)9時～(雨天中止)  
場所 大輪スポーツ広場  
開地地域 「開地ふれあい集会所 開所式」  
日時 12月11日(日)10時～  
場所 旧中央学校給食センター事務所  
谷村地域 「冬の火災予防消防署見学」  
日時 12月15日(木)13時～15時30分  
場所 YLO集合後、消防署へ